

～ 目 次 ～

第1部 決算の概要

1	会計の種類と決算規模	1
2	家計簿に置き換えてみよう	4
3	一般会計の決算	5
	(1) 歳入総額と内訳	6
	(2) 市税の内訳	8
	(3) 地方交付税ってなあに？	9
	(4) 歳出の内訳(性質別経費、目的別経費)	11
4	特別会計の決算	18
5	公営企業会計の決算	22
6	健全化判断比率・資金不足比率	25
	(1) 実質赤字比率	25
	(2) 連結実質赤字比率	25
	(3) 実質公債費比率	25
	(4) 将来負担比率	25
	(5) 資金不足比率	25
7	普通会計ってなあに？	26

第2部 決算の分析

1	決算規模	31
2	歳入の分析	32
	(1) 歳入の推移	32
	(2) 市税	33
	① 市税収入額の推移	33
	② 市税収入額と収納率の状況	34
	③ 個人市民税	35
	④ 法人市民税	36
	⑤ 固定資産税	37
	⑥ 都市計画税	38
	(3) 地方交付税と臨時財政対策債	39
	① 地方交付税と臨時財政対策債の推移	39
	② 地方交付税と臨時財政対策債の状況	40
	(4) 市債	41

3 歳出の分析	42
(1) 目的別歳出	42
① 決算額、構成の推移	43
② 民生費の内訳の推移	44
③ 土木費の内訳の推移	45
④ 教育費の内訳の推移	46
⑤ 衛生費の内訳の推移	47
(2) 性質別歳出	48
① 性質別決算額の推移	48
② 義務的経費の推移	50
③ 市民一人当たりの義務的経費の状況	51
④ 扶助費の推移	52
⑤ 繰出金等の推移	53
(国民健康保険会計・介護保険会計・後期高齢者医療会計)	
⑥ 投資的経費の推移	54
4 財政指標	56
(1) 市債現在高及び公債費の推移	56
(2) 将来負担比率及び実質公債費比率の推移	57
(3) 市民一人当たりの市債現在高、将来負担比率の状況	57
(4) 財政調整基金及び減債基金現在高の推移	58
(5) 市民一人当たりの財政調整基金及び市債管理基金現在高の状況	58
(6) 財政力指数の推移・状況	59
5 熊本市の決算分析のまとめ	60
【資料編】	62
(1) 平成28年度決算関係	62
(2) 財政指標関係	67